

別表1 法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）の換気状況評価表（A4）

測定年月日	測定機器 メーカー名	型式番号等			判定
階	室名	必要換気量 (m ³ /h)	換気方式	換気設備機種名*注1	換気状況の評価*注2
			一種・二種・三種		指摘なし・要是正
			一種・二種・三種		指摘なし・要是正
			一種・二種・三種		指摘なし・要是正
			一種・二種・三種		指摘なし・要是正
			一種・二種・三種		指摘なし・要是正
			一種・二種・三種		指摘なし・要是正
			一種・二種・三種		指摘なし・要是正
			一種・二種・三種		指摘なし・要是正
			一種・二種・三種		指摘なし・要是正
			一種・二種・三種		指摘なし・要是正

注1) 室ごとに単独の換気扇がある場合など、換気設備が特定されている場合は、その名称を記入する。

注2) 「換気状況の評価」欄には、外気取り入れ口における風量測定を行うことが最も確実であり、換気量測定を行った場合は、その測定結果を記入する。これに代わる方法として、各室の二酸化炭素濃度の測定を行い、居住者数と測定値に矛盾がないか確認する等を行った場合には、その結果を記入する。

別表2 換気設備を設けるべき調理室等の換気風量測定表 (A4)

測定年月日	測定機器 メーカー名		型式番号等					
室番 (場所)	使用器具	発熱量 (kW)	換気型式 (n)	必要換気量 (m ³ /h)	開口面積 (m ²)	測定風速*注 (m/s)	測定風量 (m ³ /h)	判定
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正

注) 「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。

別表3 排煙風量測定記録表 (A4) *注1)

測定年月日	測定機器 メーカー名		型式番号等				
1	排煙機系統(機器番号等)		排煙機銘板表示	排煙機の規定風量 最大防煙区画面積 $\text{m}^2 \times 1 \text{ or } 2 = \text{m}^3/\text{min}$			
2	排 煙 口				判 定		
	階	室 名	排煙口面積 (m^2)	測定風速 (m/s)*注2)		測定風量 (m^3/min)	規定風量 (m^3/min)
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正
3	排 煙 機				判 定		
	排煙機 (番号等)	煙排出口面積 (m^2)	測定風速 (m/s)*注2)	測定風量 (m^3/min)		規定風量 (m^3/min)	
						指摘なし・要是正	
4	直結エンジン(内燃エンジン)の有無	予備電源又は直結エンジン切り替え					
	有 ・ 無	指摘なし・要是正					
5	排煙系統図 (排煙機と排煙口の対応関係がわかる図を記入すること)						

注1) 本記録表は、排煙機系統ごとに記入する。

注2) 「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。

注3) 自主点検等による排煙風量測定記録がある場合は、実施時期、測定方法、測定値等が適正であるか否かを判定すること。

別表 3-2 排煙風量測定記録表 (A 4) 給気式 (特殊な構造の排煙設備)

測定年月日	測定機器 メーカー名	型式番号等
1	給気送風機系統 (機器番号等)	給気送風機銘板表示
		給気送風機の性能 (風量)
		m ³ /min

階	室 名	排 煙 口				判 定
		排煙口面積 (m ²)	測定風速 (m/s)*注1)	測定風量 (m ³ /min)	規定風量 (m ³ /min)	
2						指摘なし・要是正
						指摘なし・要是正
						指摘なし・要是正
						指摘なし・要是正
						指摘なし・要是正

3	直結エンジン (内燃エンジン) の有無	予備電源又は直結エンジン 切り替え
	有 ・ 無	指摘なし・要是正

4	排煙系統図 (給気送風機と排煙口の対応関係がわかる図を記入すること)

- 注1) 「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。
 注2) 自主点検等による排煙風量測定記録がある場合は、実施時期、測定方法、測定値等が適正であるか否かを判定すること。

別表3-3 排煙風量測定記録表 (A4) 加圧式 (加圧防排煙設備)

測定年月日	測定機器 メーカー名	型式番号等
1	給気送風機系統(機器番号等)	給気送風機銘板表示
		給気送風機の性能(風量)
		m ³ /min

階	室名	遮煙開口部・空気逃し口				算定式*注3)	遮煙開口部の高さ(m)	判定
		空気逃し口の方式*注1)	測定排煙風速*注2 (m/s)	規定排出風速*注3 (m/s)				
2		1. 自然方式 <input type="checkbox"/>					指摘なし・要是正	
		2. 機械方式 <input type="checkbox"/>					指摘なし・要是正	
		3. 併用方式 <input type="checkbox"/>					指摘なし・要是正	
		1. 自然方式 <input type="checkbox"/>					指摘なし・要是正	
		2. 機械方式 <input type="checkbox"/>					指摘なし・要是正	
		3. 併用方式 <input type="checkbox"/>					指摘なし・要是正	

3	直結エンジン (内燃エンジン)の有無	予備電源又は直結エンジン 切り替え
	有 ・ 無	指摘なし・要是正

4	排煙系統図 (給気送風機と空気逃し口の対応関係がわかる図を記入すること)

- 注1) 「空気逃し口の方式」欄には、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れる。
- 注2) 「測定排出風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。
- 注3) 隣接室を区画する当該区画の仕様及び隣接室の仕様に応じて、規定排出風速Vの算定式を以下の①から③のいずれかを選択し、「算定式」欄に記入する。また、当該算定式により排出風速を算出し、「規定排出風速」欄に記入する。この場合において、Vは排出風速、Hは遮煙開口部の高さを表す。
- ① $V=2.7\sqrt{H}$ ② $V=3.3\sqrt{H}$ ③ $V=3.8\sqrt{H}$
- 注4) 自主点検等による風速測定記録がある場合は、実施時期、測定方法、測定値等が適正であるか否かを判定すること。

別表4 非常用の照明装置の照度測定表 (A4)

測定年月日	測定機器	メーカー名	型式番号等	
光源の種類	最低照度の測定場所		最低照度 (lx)	判定
	階	部屋・廊下等		
白熱灯				指摘なし・要是正
蛍光灯				指摘なし・要是正
その他 ()				指摘なし・要是正

(別紙)

階別	測定場所	測定位置 ^{*注1}	光源の種類 ^{*注2}	照度 (lx)

注1) 「測定位置」欄には、「出入口付近」、「右壁中央付近」のように明記する。
 注2) 「光源の種類」欄には、白熱灯、蛍光灯、その他の別及び電池内蔵のものにあつては、(内)と付す。